

---

# 転入・転出に関するアンケート調査報告書

(調査期間：令和3年3月から令和3年5月)

令和3年10月

牛久市

経営企画部政策企画課

# 目次

I. 調査の概要	
II. 調査の結果（単純集計）	
1. 転入数・転出数の概要	6
2-1. 転入前の地域、転出後の地域	7
2-2. 地域別の転入超過、転出超過	8
3. 転入・転出の理由	9
4-1. 転入・転出者の年代	10
4-2. 年代別の転入超過、転出超過	11
5. 転入後の地区、転出前の地区	12
6. 転入・転出後の家族構成	13
7. 世帯主の職業	14
8. 移動先を選んだ理由	15
III. 調査の結果（詳細集計）	
1. 就職による県外間移動	17
2. 転勤による転入	18
3. 転職（転業）による転出	19
4-1. 結婚による移動①	20
4-2. 結婚による移動②	21
5-1. 親との同居・近居による転入	22
5-2. 移動先選択理由からみた親との同居・近居	23
IV. 調査の結果（経年変化）	
1-1. 転入・転出超過数（記入者数・家族込総数別）	25
1-2. 転入・転出超過数（県内・県外別）	26
1-3. 転入・転出超過数（近隣市町村別）	27
1-4. 転入・転出超過数（関東圏内の都県別）	28
1-5. 転入・転出超過数（移動理由別）	29
1-6. 転入・転出超過数（年代別）	30
1-7. 転入・転出超過数（地区別）	31
2. 家族の世帯構成	32
3. 世帯主の職業	33
4-1. 転入先を選択した理由	34
4-2. 転出先を選択した理由	35
5. まとめ	36
アンケート調査票	37

# I .調査の概要

# I. 調査の概要①

## (1) 調査の目的

- ◆ 牛久市の転入を促進し、転出を抑制するための政策・施策を実践していくにあたり、転入者、転出者の属性や転入転出の理由等を収集・分析し、現状と解決すべき課題を把握するために実施。

## (2) 調査対象者

- ◆ 牛久市に、転入届、または転出届を提出した方

## (3) 調査方法

- ◆ 市役所にて転入届、または転出届を提出した方への任意の無記名アンケート

## (4) 調査期間

- ◆ 令和3年3月1日から令和3年5月31日まで

## (5) アンケート回収数等

- ◆ 587人（有効回答者587人）  
※「転入」または「転出」のいずれに回答しているかが判断できるものを有効回答とした。

# I. 調査の概要②

## (6) アンケートで把握された移動者数と実際の移動者数

- ◆ 本アンケート回収により把握された移動者数と、人口移動報告で把握している移動者数を比較した。
- ◆ 3か月間で全移動者のうち約3割のデータを取得した。
- ◆ 月別で見ると、転入・転出ともに3月において人口移動報告に対するアンケート移動者数の割合が最も高かった。

移動月	転入者数(人)				転出者数(人)			
	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合 (A/B)	アンケート 記入者数	アンケート 移動者数(A)	人口移動 報告分 (B)	割合 (A/B)
令和3年 3月	146	205	586	35.0%	196	255	645	39.5%
令和3年 4月	80	108	417	25.9%	77	95	381	24.9%
令和3年 5月	55	70	238	29.4%	33	54	237	22.8%
合計	281	383	1,241	30.9%	306	404	1,263	32.0%

## (7) 使用している用語の定義

- ◆ 本アンケートでは、移動者について、「記入者」「原因者」「同伴者」「家族込総数」といった用語を使い、集計によって使い分けているが、その定義は次のとおりである。

「記入者」：アンケートの記入者、窓口でアンケートに回答した方

「原因者」：「転勤」「結婚」など、転入・転出の理由となった方（人数は「記入者」と一致）

「同伴者」：「原因者」に伴って転入・転出した方

「家族込総数」：「原因者数」+「同伴者数」、一緒に移動した世帯人員数

## Ⅱ.調査の結果（単純集計）

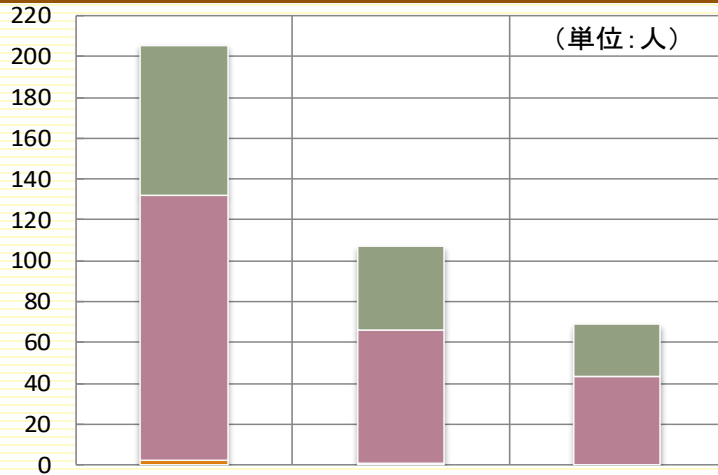
※本集計の移動者数は、アンケート回収分の人数であり、実際の移動者数とは異なる。

# 1. 転入数・転出数の概要

- ◆ 転入では、県内からの転入者数よりも県外からの転入者数のほうが多く、転出も同様の傾向である。
- ◆ 世帯当たり平均人数では、転出（1.32人）よりも転入（1.37人）のほうがやや多い。
- ◆ 移動の時期は、転入・転出ともに3月が最も多い。

※家族込総数ベース（原因者+同伴者）

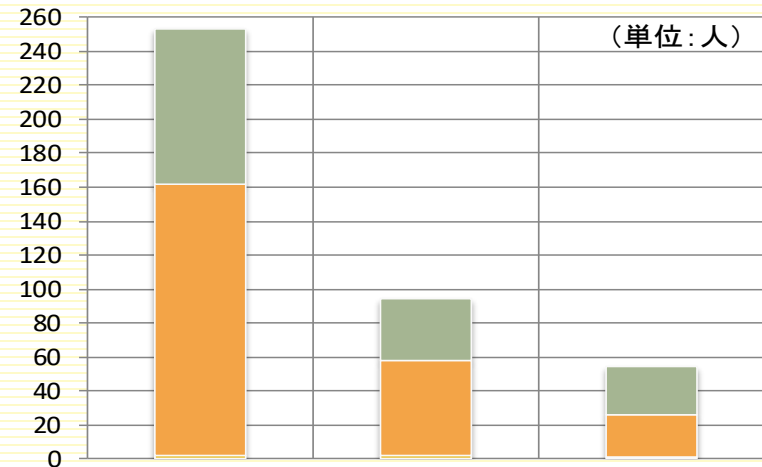
## 転入の概要



転入	移動月	2021年3月	4月	5月	地域別計	世帯当たり平均人数	
							移動前地域
		県外	130	65	43	238	1.36
		国外	2	1	0	3	1.00
	月別計	205	107	69	381	1.37	
	割合(%)	53.8	28.1	18.1	100.0	-	

移動前地域無回答:2名

## 転出の概要



転出	移動月	2021年3月	4月	5月	地域別計	世帯当たり平均人数	
							移動後地域
		県外	160	56	25	241	1.25
		国外	2	2	1	5	1.00
	月別計	253	94	54	401	1.32	
	割合(%)	63.1	23.4	13.5	100.0	-	

移動後地域無回答:3名

## 2-1. 転入前の地域、転出後の地域（県内市町村別、県外都道府県別）

- ◆ 県内間移動においては、転入では「つくば市」「龍ヶ崎市」「土浦市」が上位。  
転出では「つくば市」「阿見町」「土浦市」が上位であり、県内への転出のうち約7割（69.0%）を近隣市町村が占める。
- ◆ 県外間移動においては、転入・転出とも東京圏（「東京都」「千葉県」「神奈川県」「埼玉県」）が上位。

※家族込総数ベース（原因者+同伴者）

### 転入前の地域

順位	1	2	3	4	5	6	7	7	9	10	10		
県内から転入	つくば市	龍ヶ崎市	土浦市	水戸市	阿見町	小美玉市	石岡市	河内町	稲敷市	日立市	取手市	その他	合計
人数(人)	33	19	14	12	9	7	6	6	5	4	4	21	140
割合(%)	23.6	13.6	10.0	8.6	6.4	5.0	4.3	4.3	3.6	2.9	2.9	15.0	100.0
順位	1	2	3	4	5	6	7	7	9	9			
県外から転入	東京都	千葉県	埼玉県	神奈川県	福岡県	宮城県	北海道	新潟県	群馬県	大阪府	その他		合計
人数(人)	67	36	23	21	9	8	7	7	6	6	48		238
割合(%)	28.2	15.1	9.7	8.8	3.8	3.4	2.9	2.9	2.5	2.5	20.2		100.0

### 転出後の地域

順位	1	2	3	4	5	6	7	7	7	10	10		
県内へ転出	つくば市	阿見町	土浦市	取手市	龍ヶ崎市	石岡市	つくばみらい市	那珂市	ひたちなか市	かすみがうら市	日立市	その他	合計
人数(人)	33	23	22	18	11	6	5	5	5	4	4	19	155
割合(%)	21.3	14.8	14.2	11.6	7.1	3.9	3.2	3.2	3.2	2.6	2.6	12.3	100.0
順位	1	2	3	4	5	6	7	8	8	8	8		
県外へ転出	東京都	千葉県	神奈川県	埼玉県	栃木県	北海道	長野県	福岡県	福島県	愛知県	兵庫県	その他	合計
人数(人)	57	50	30	20	12	10	6	5	5	5	5	36	241
割合(%)	23.7	20.7	12.4	8.3	5.0	4.1	2.5	2.1	2.1	2.1	2.1	14.9	100.0



## 2-2. 地域別の転入超過、転出超過（県内間移動、県外間移動）

- ◆ 県内間移動において、隣接市町村をみると「龍ヶ崎市」「稲敷市」では転入超過、「取手市」「阿見町」「土浦市」では転出超過。
- ◆ 県外間移動をみると、「東京都」と「埼玉県」で転入超過、「千葉県」と「神奈川県」で転出超過。
- ◆ 県内間移動では15人の転出超過、県外間移動では3人の転出超過。

※家族込総数ベース（原因者+同伴者）

### 県内間移動

順位	1	2	3	3	5	6	7	7	9	9	9	9	
転入超過	水戸市	龍ヶ崎市	小美玉市	河内町	稲敷市	行方市	結城市	下妻市	神栖市	銚田市	東海村	利根町	合計
人数(人)	9	8	6	6	5	3	2	2	1	1	1	1	45
順位	1	1	3	4	5	6	6	8	8	8			
転出超過	取手市	阿見町	土浦市	那珂市	ひたちなか市	かすみがうら市	つくばみらい市	常総市	守谷市	常陸大宮市	その他		合計
人数(人)	14	14	8	5	4	3	3	2	2	2	3		60

転出超過数 15

### 県外間移動

順位	1	2	3	3	3	3	7	7	9	9	9	9	9		
転入超過	東京都	新潟県	福岡県	宮城県	群馬県	京都府	埼玉県	大阪府	青森県	岐阜県	秋田県	山梨県	熊本県	その他	合計
人数(人)	10	7	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	5	54
順位	1	2	3	4	5	6	6	7	7	7					
転出超過	千葉県	神奈川県	栃木県	長野県	滋賀県	北海道	兵庫県	福島県	愛知県	高知県	その他				合計
人数(人)	14	9	7	6	4	3	3	2	2	2	5				57

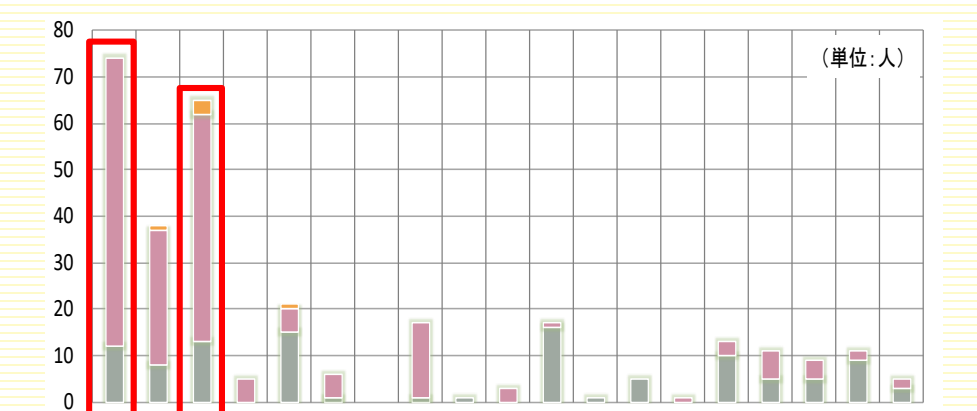
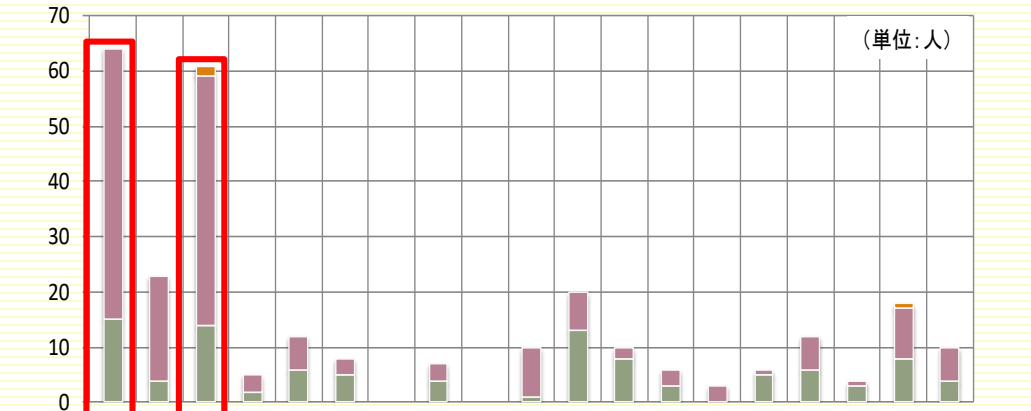
転出超過数 3

# 3. 転入・転出の理由

- ◆ 転入全体、転出全体ともに「就職」が最も多く、「転勤」が続く。
- ◆ 県内間移動の転入は「就職」が最も多く、「転勤」が続く。転出については、「住宅購入（新築）」が最も多く、「結婚」が続く。
- ◆ 県外間移動の転入は「就職」が最も多く、「転勤」が続く。転出については、「就職」が最も多い。 ※原因者数ベース

転入の理由

転出の理由



転入	移動理由	地域別計																			
		就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	
移動前地域	県内	15	4	14	2	6	5	0	4	0	1	13	8	3	0	5	6	3	8	4	101
	県外	49	19	45	3	6	3	0	3	0	9	7	2	3	3	1	6	1	9	6	175
	国外	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
理由別計		64	23	61	5	12	8	0	7	0	10	20	10	6	3	6	12	4	18	10	279
割合(%)		22.9	8.2	21.9	1.8	4.3	2.9	0.0	2.5	0.0	3.6	7.2	3.6	2.2	1.1	2.2	4.3	1.4	6.5	3.6	100.0

転出	移動理由	地域別計																			
		就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	親との同居	親との近居	家族から独立	生活の利便性※	交通の利便性	その他	無回答・不明	
移動後地域	県内	12	8	13	0	15	1	0	1	1	0	16	1	5	0	10	5	5	9	3	105
	県外	62	29	49	5	5	5	0	16	0	3	1	0	1	3	6	4	2	2	193	
	国外	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
理由別計		74	38	65	5	21	6	0	17	1	3	17	1	5	1	13	11	9	11	5	303
割合(%)		24.4	12.5	21.5	1.7	6.9	2.0	0.0	5.6	0.3	1.0	5.6	0.3	1.7	0.3	4.3	3.6	3.0	3.6	1.7	100.0

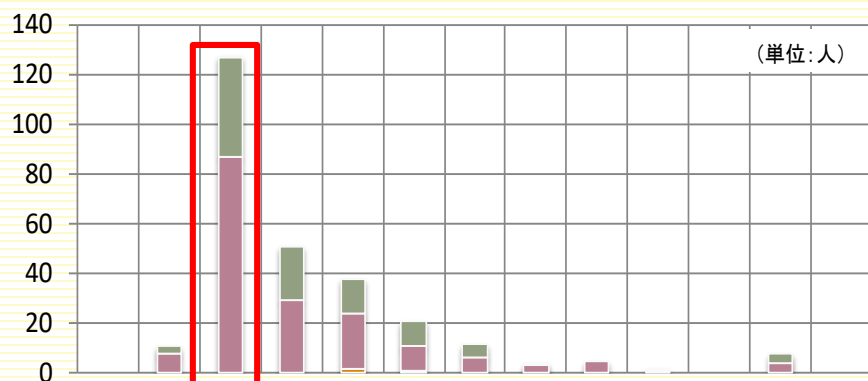
※生活の利便性・・・買い物に便利、教育環境のよい地域への住み替えなど

## 4-1. 転入・転出者の年代

- ◆ 転入・転出の理由になった方（原因者）の年代は、「20歳代」が最も多い。
- ◆ 県内間移動、県外間移動ともに転出では、上位から「20歳代」「30歳代」「40歳代」の順。

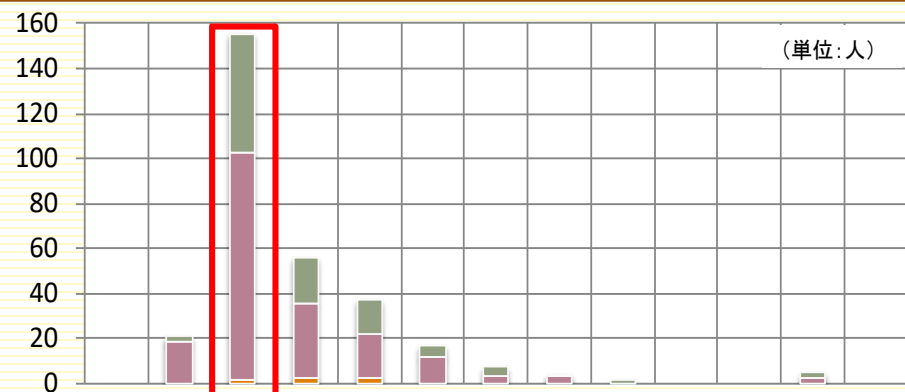
※原因者数ベース

### 転入



転入	年代	地域別計													
		0歳～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	
移動前地域	県内	0	3	40	22	14	10	6	1	0	1	0	4	0	101
	県外	0	8	87	29	22	10	6	3	5	1	0	4	0	175
	国外	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
年代別計		0	11	127	51	38	21	12	4	5	2	0	8	0	279
割合(%)		0.0	3.9	45.5	18.3	13.6	7.5	4.3	1.4	1.8	0.7	0.0	2.9	0.0	100.0

### 転出

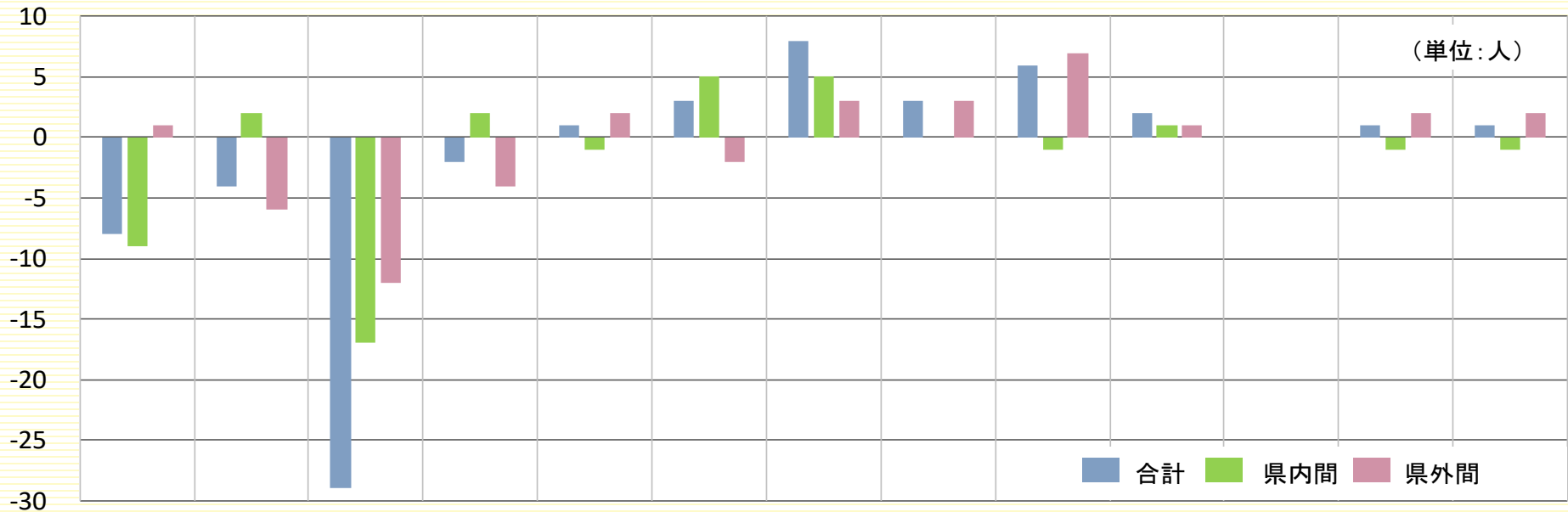


転出	年代	地域別計													
		0歳～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	
移動後地域	県内	0	3	52	21	15	5	4	1	1	0	0	3	0	105
	県外	0	18	102	33	20	12	3	3	0	0	0	2	0	193
	国外	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5
年代別計		0	21	155	56	37	17	7	4	1	0	0	5	0	303
割合(%)		0.0	6.9	51.2	18.5	12.2	5.6	2.3	1.3	0.3	0.0	0.0	1.7	0.0	100.0

## 4-2. 年代別の転入超過、転出超過（県内間移動、県外間移動）

- ◆ 「40歳代」～「90歳代」において転入超過、「0歳代」～「30歳代」において転出超過。
- ◆ 転入超過では「60歳代」が8人と最も多く、転出超過では「20歳代」が29人と最も多い。

※家族込総数ベース（原因者＋同伴者）



年代	0歳～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備	合計
県内間	-9	2	-17	2	-1	5	5	0	-1	1	0	-1	-1	-15
県外間	1	-6	-12	-4	2	-2	3	3	7	1	0	2	2	-3
合計	-8	-4	-29	-2	1	3	8	3	6	2	0	1	1	-18

## 5. 転入後の地区、転出前の地区（県内間移動、県外間移動）

- ◆ 転入超過数では「中央」が16人と最も多く、転出超過数では「上柏田」「さくら台」が17人と最も多い。
- ◆ 県内からの転入では「ひたち野西」が最も多く、県外からの転入では「ひたち野東」が最も多い。
- ◆ 県内への転出では「上柏田」が最も多く、県外への転出ともに「ひたち野東」が最も多い。

※家族込総数ベース（原因者＋同伴者）

（単位：人）

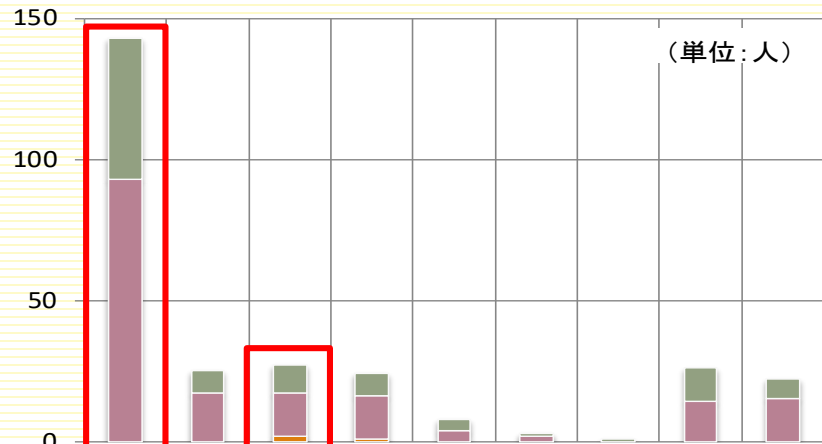
地区		牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	文化町	結束町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明	合計	
		転入後	県内	県外	国外	転出前	県内	県外	国外	転入-転出																												
転入後	県内	5	0	0	0	0	3	5	1	0	0	1	4	0	18	12	8	6	10	4	15	16	6	9	1	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	10	140
	県外	22	0	0	0	0	16	10	19	1	0	0	0	1	21	36	7	3	9	8	28	14	11	1	0	0	1	2	0	10	0	1	0	0	0	0	17	238
	国外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
転出前	県内	13	0	0	0	0	5	3	6	0	0	5	1	0	12	13	7	2	19	7	8	4	8	14	2	0	0	4	0	5	0	0	1	1	2	13	155	
	県外	24	4	1	0	0	8	4	4	0	0	3	3	1	14	28	3	8	17	17	18	22	5	13	1	0	0	2	0	17	1	0	2	0	2	19	241	
	国外	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
転入-転出		-12	-4	-1	0	0	6	8	10	1	0	-7	0	0	13	8	5	-1	-17	-12	16	4	5	-17	-2	0	1	1	0	-12	0	1	-3	-1	-4	-6	-20	

## 6. 転入・転出後の家族構成

- ◆ 転入・転出ともに、「一人暮らし」が最も多く、「夫婦が同居」が続く。
- ◆ 移動後、「一人暮らし」は県外への転出で最も多く、「夫婦が同居」は県内への転出で最も多い。

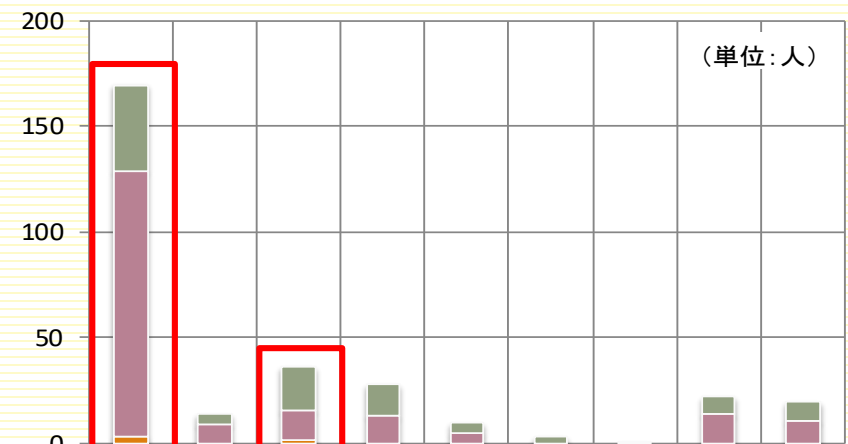
※記入者数ベース

### 転入



転入	移動前地域	家族構成	地域別計									
			一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明
	県内		50	8	10	8	4	1	1	12	7	101
	県外		93	17	15	15	4	2	0	14	15	175
	国外		0	0	2	1	0	0	0	0	0	3
	構成別計		143	25	27	24	8	3	1	26	22	279
	割合(%)		51.3	9.0	9.7	8.6	2.9	1.1	0.4	9.3	7.9	100.0

### 転出



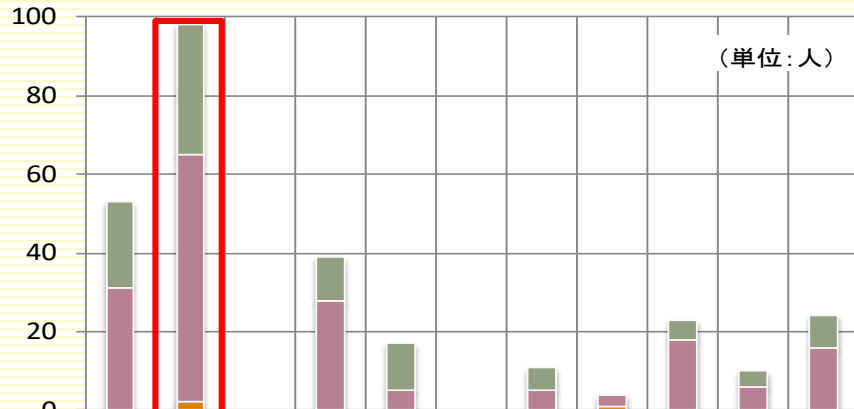
転出	移動後地域	家族構成	地域別計									
			一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	同居	ひとり親と子どもが同居	親と子ども夫婦、孫が同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明
	県内		40	5	20	15	5	3	0	8	9	105
	県外		126	9	14	13	5	0	1	14	11	193
	国外		3	0	2	0	0	0	0	0	0	5
	構成別計		169	14	36	28	10	3	1	22	20	303
	割合(%)		55.8	4.6	11.9	9.2	3.3	1.0	0.3	7.3	6.6	100.0

## 7. 世帯主の職業

- ◆ 転入・転出ともに、「会社員（市外勤務）」が最も多い。
- ◆ 「会社員（市内勤務）」「会社員（市外勤務）」ともに県外への転出が最も多い。
- ◆ 「公務員・団体職員」は、県外からの転入が最も多い。

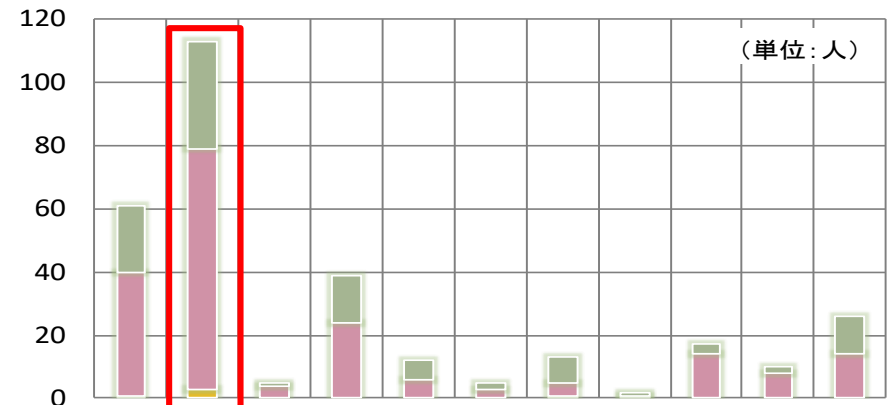
※記入者数ベース

### 転入



転入	世帯主職業	地域別計											
		会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
移動前地域	県内	22	33	0	11	12	0	6	0	5	4	8	101
	県外	31	63	0	28	5	0	5	3	18	6	16	175
	国外	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
職業別計		53	98	0	39	17	0	11	4	23	10	24	279
割合(%)		19.0	35.1	0.0	14.0	6.1	0.0	3.9	1.4	8.2	3.6	8.6	100.0

### 転出



転出	世帯主職業	地域別計											
		会社員(市内勤務)	会社員(市外勤務)	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	
移動後地域	県内	21	34	1	15	6	2	8	1	3	2	12	105
	県外	39	76	4	24	6	3	4	1	14	8	14	193
	国外	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
職業別計		61	113	5	39	12	5	13	2	17	10	26	303
割合(%)		20.1	37.3	1.7	12.9	4.0	1.7	4.3	0.7	5.6	3.3	8.6	100.0

## 8. 移動先を選んだ理由

- ◆ 転入・転出ともに、1位は「学校・職場などが近い」で、2位は「住宅（購入・賃貸）の条件が良かった」。
- ◆ 転入理由の3位は「買い物が便利である」で、4位は「親兄弟が近くにいる」。
- ◆ 転出理由の3位は「公共交通が便利である」で、4位は「買い物が便利である」。

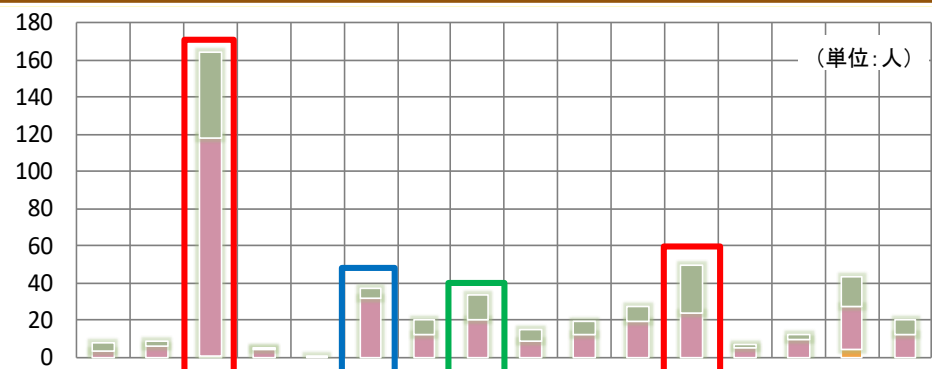
※記入者数ベース

### 転入



転入	移動先選択理由	記入者数																
		子供が育てやすい	良い教育や文化的な環境が	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明	
移動前地域	県内	1	2	39	0	0	14	7	22	1	10	18	28	3	0	35	8	101
	県外	5	7	74	4	1	17	15	24	17	15	21	26	8	1	62	8	175
	国外	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	3
理由別計		6	9	114	4	1	32	22	47	18	25	39	55	11	2	98	17	279
割合(%)		2.2	3.2	40.9	1.4	0.4	11.5	7.9	16.8	6.5	9.0	14.0	19.7	3.9	0.7	35.1	6.1	-

### 転出



転出	移動先選択理由	記入者数																
		子供が育てやすい	良い教育や文化的な環境が	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明	
移動後地域	県内	5	3	46	1	1	5	8	14	6	7	8	26	2	2	16	8	105
	県外	3	6	117	4	0	32	12	20	9	12	19	24	5	10	23	12	193
	国外	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5
理由別計		8	9	164	5	1	37	20	34	15	19	27	50	7	12	43	20	303
割合(%)		2.6	3.0	54.1	1.7	0.3	12.2	6.6	11.2	5.0	6.3	8.9	16.5	2.3	4.0	14.2	6.6	-

※複数回答であり、合計は100%とはならない



## Ⅲ.調査の結果（詳細集計）

# 1. 就職による県外間移動

- ◆ 就職による移動は、県内間移動では3人の転入超過、県外間移動では13人の転出超過である（P9参照）。
- ◆ 県外間移動の状況を年代別にみると、20歳代に集中しており、全体の8割を超えている。
- ◆ 転入前地域では、男女ともに東京圏が最も多いが、全国各地から転入している。
- ◆ 一方、転出後地域では男女ともに東京圏に集中している。

※原因者数ベース

## 就職による県外間移動（年代、性別）

移動理由 就職	年代	10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	年齢不明	合計	
		～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳			
県外から転入	年代別計(%)	12.2	85.7	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	性別	男性	10.2	51.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.2
		女性	2.0	34.7	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.8
		性別不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県外へ転出	年代別計(%)	4.8	87.1	1.6	3.2	1.6	0.0	0.0	1.6	100.0	
	性別	男性	1.6	48.4	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	1.6	54.8
		女性	3.2	38.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	45.2
		性別不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 転入前地域、転出後地域

転入前地域 (県外)	男性	東京※	東北	中部	近畿	北海道	北関東	中国	九州	合計
	割合(%)	36.7	16.7	10.0	10.0	6.7	6.7	6.7	6.7	100.0
	女性	東京圏	近畿	東北	中部	中国				合計
	割合(%)	47.4	15.8	21.1	10.5	5.3				100.0
転出後地域 (県外)	男性	東京圏	中部	東北	北海道	北関東	近畿	九州		合計
	割合(%)	67.6	11.8	8.8	2.9	2.9	2.9	2.9		100.0
	女性	東京圏	近畿	中部						合計
	割合(%)	89.3	7.1	3.6						100.0

※東京圏は「東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県」、北関東は「栃木県・群馬県」

## 2. 転勤による転入（県内・県外）

- ◆ 転勤による移動は、県内間移動では1人の転入超過、県外間移動では4人の転出超過である（P9参照）。
- ◆ 転勤による転入の状況を見ると、県内、県外ともに「20歳代」の割合が最も高い。
- ◆ 性別では、県内・県外ともに男性の割合が高い。
- ◆ 転入前の地域では、男性・女性ともに東京圏の割合が高い。

※原因者数ベース

### 転勤による転入（年代、性別）

移動理由 転勤	年代	10歳 ～ 19歳	20歳 ～ 29歳	30歳 ～ 39歳	40歳 ～ 49歳	50歳 ～ 59歳	60歳 ～ 69歳	年齢 不明	合計	
		県内から転入	年代別計(%)	7.1	50.0	21.4	7.1	7.1		7.1
	性別	男性	7.1	28.6	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	71.4
		女性	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	28.6
		性別不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県外から転入	年代別計(%)	0.0	40.0	17.8	24.4	8.9	4.4	0.0	100.0	
	性別	男性	0.0	26.7	17.8	24.4	8.9	4.4	0.0	82.2
		女性	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3
		性別不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	4.4

### 転入前地域、転入前地域

転入前市町村（県内）	男性	取手市	行方市	うらみ が うら ら 市	かす みが	神 栖 市	筑 西 市	日 立 市	水 戸 市	龍 ヶ 崎 市	合計
	割合(%)	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	100.0
	女性	つく ば 市	利 根 町	結 城 市							合計
	割合(%)	50.0	25.0	25.0							100.0
転入前地域（県外）	男性	東京 圏	近 畿	九 州	北 海 道	東 北	中 国	中 部			合計
	割合(%)	47.4	18.4	10.5	7.9	7.9	5.3	2.6			100.0
	女性	東京 圏	北 関 東	中 部	東 北						合計
	割合(%)	33.3	33.3	16.7	16.7						100.0

### 3. 転職による転出（県内・県外）

- ◆ 転職による移動は、県内間移動で4人の転出超過、県外間移動で10人の転出超過である（P9参照）。
- ◆ 転職による転出の状況を年代別にみると、20歳代と30歳代に集中している。
- ◆ 性別では、県内・県外ともに女性よりも男性の割合が高い。
- ◆ 県外への転出先は、男性・女性ともに東京圏の割合が最も高い。

※原因者数ベース

転職による転出（県内外、年代、性別）

移動理由 転職		年代	20歳 〜 29歳	30歳 〜 39歳	40歳 〜 49歳	50歳 〜 59歳	60歳 〜 69歳	年齢不明	合計
			年代別計(%)		75.0	12.5	0.0		
県内へ 転出	性別	男性	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	75.0
		女性	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
		性別不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
年代別計(%)		55.2	41.4	3.4	0.0	0.0	0.0	100.0	
県外へ 転出	性別	男性	31.0	31.0	3.4	0.0	0.0	0.0	65.5
		女性	24.1	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	34.5
		性別不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

転出後市町村、地域

転出後市町村 (県内)	男性	な  ひ  な か  た  ち 市	石 岡 市	土 浦 市	つ く ば 市	か す み が う ら 市	笠 間 市	合計
	割合(%)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	100.0
	女性	笠 間 市	な  ひ  な か  た  ち 市					合計
割合(%)	50.0	50.0					100.0	
転出後地域 (県外)	男性	東 京 圏	近 畿	中 部	北 海 道	東 北		合計
	割合(%)	68.4	15.8	5.3	5.3	5.3		100.0
	女性	東 京 圏	九 州	東 北	中 部	近 畿		合計
	割合(%)	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0		100.0



## 4-2. 結婚による移動②

- ◆ 県内間移動では、特に男性の転出者において近隣市町の割合が高い。
- ◆ 県外間移動では、転入・転出ともに東京圏の割合が高く、特に転出においては、すべて東京圏である。

※原因者数ベース

### 結婚による県内間移動

転入前地域 (県内)	男性	小美玉市	龍ヶ崎市					合計
	割合(%)	50.0	50.0					100.0
	女性	石岡市	土浦市	水戸市	龍ヶ崎市			合計
	割合(%)	25.0	25.0	25.0	25.0			100.0
転出後地域 (県内)	男性	つくば市	阿見町	常総市	筑西市	土浦市	守谷市	合計
	割合(%)	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	100.0
	女性	取手市	龍ヶ崎市	阿見町	つくば市			合計
	割合(%)	33.3	33.3	16.7	16.7			100.0

### 結婚による県外間移動

転入前市町村 (県外)	男性	東京都						合計
	割合(%)	100.0						100.0
	女性	千葉県	東京都	宮城県				合計
	割合(%)	40.0	40.0	20.0				100.0
転出後市町村 (県外)	男性							合計
	割合(%)							0.0
	女性	埼玉県	千葉県	東京都				合計
	割合(%)	50.0	25.0	25.0				100.0

## 5-1. 親との同居・近居による転入

- ◆ 親との同居・近居による転入者の年代をみると、30歳代の割合が最も高い。
- ◆ 転入後の世帯構成をみると、「一人暮らし」「親と独身の子が同居」「夫婦と子どもが同居」の割合が最も高い。
- ◆ 転入地区をみると、「牛久町」「刈谷町」「田宮」「中央」の割合が最も多い。

※原因者数ベース

### 転入者の年代

年代	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	年齢 不明	合計
人数(人)	0	1	0	4	1	1	1	0	1	0	9
割合(%)	0.0	11.1	0.0	44.4	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	100.0

### 移動後の世帯構成

移動後の世帯構成	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	子どもが同居 ひとり親と	親と子ども夫婦、 孫が同居	親と独身の子、 孫が同居	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	2	2	0	2	0	0	0	3	0	9
割合(%)	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0

### 転入地区

転入地区	牛久町	刈谷町	田宮	中央	女化町	無回答・不明	合計
同居+近居(人)	2	2	2	2	1	0	9
割合(%)	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	0.0	100.0

## 5-2. 移動先選択理由からみた親との同居・近居

- ◆ 牛久市に転入した理由（単一回答）として「親との同居・近居」と回答した割合は3.2%。  
（「親との同居」2.1%、「親との近居」1.1%）
- ◆ 転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）について、「親兄弟が近くにいる」と回答した割合は転入者の8.0%。
- ◆ 「親兄弟が近くにいる」と回答した人の転入した理由（単一回答）をみると、「住宅購入（新築）」「生活の利便性」が上位にある。

※原因者数ベース

### 牛久市に転入した理由（単一回答）

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	両親等との同居	両親等との近居	家族からの独立	生活の利便性	交通の利便性	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	64	23	62	5	12	8	0	7	0	10	20	10	6	3	6	12	5	19	9	281
割合(%)	22.8	8.2	22.1	1.8	4.3	2.8	0.0	2.5	0.0	3.6	7.1	3.6	2.1	1.1	2.1	4.3	1.8	6.8	3.2	100.0

### 転入先として牛久市を選択した理由（複数回答）

移動先選択理由	子どもが育てやすい	環境がよい	教育や文化的な	近い	学校・職場などが	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利	である	道路交通網が便利	買い物物が便利である	自然環境がよい	友人・知人が近くに	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件がよかった	治安がよい	まちに活気がある	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	6	9	115	4	1	33	22	47	18	25	39	55	11	2	99	1	487			
割合(%)	1.2	1.8	23.6	0.8	0.2	6.8	4.5	9.7	3.7	5.1	8.0	11.3	2.3	0.4	20.3	0.2	※			

※複数回答であり、合計は100%とはならない

### 「親兄弟が近くにいる」と回答した人の転入した理由（単一回答）

移動理由	就職	転職（転業）	転勤	退職（廃業）	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入（新築）	住宅購入（中古）	両親等との同居	両親等との近居	家族からの独立	生活の利便性	交通の利便性	その他	無回答・不明	合計
人数(人)	1	2	2	0	2	3	0	0	0	4	8	1	4	2	1	7	0	0	2	39
割合(%)	2.6	5.1	5.1	0.0	5.1	7.7	0.0	0.0	0.0	10.3	20.5	2.6	10.3	5.1	2.6	17.9	0.0	0.0	5.1	100.0



## IV.調査の結果（経年変化）

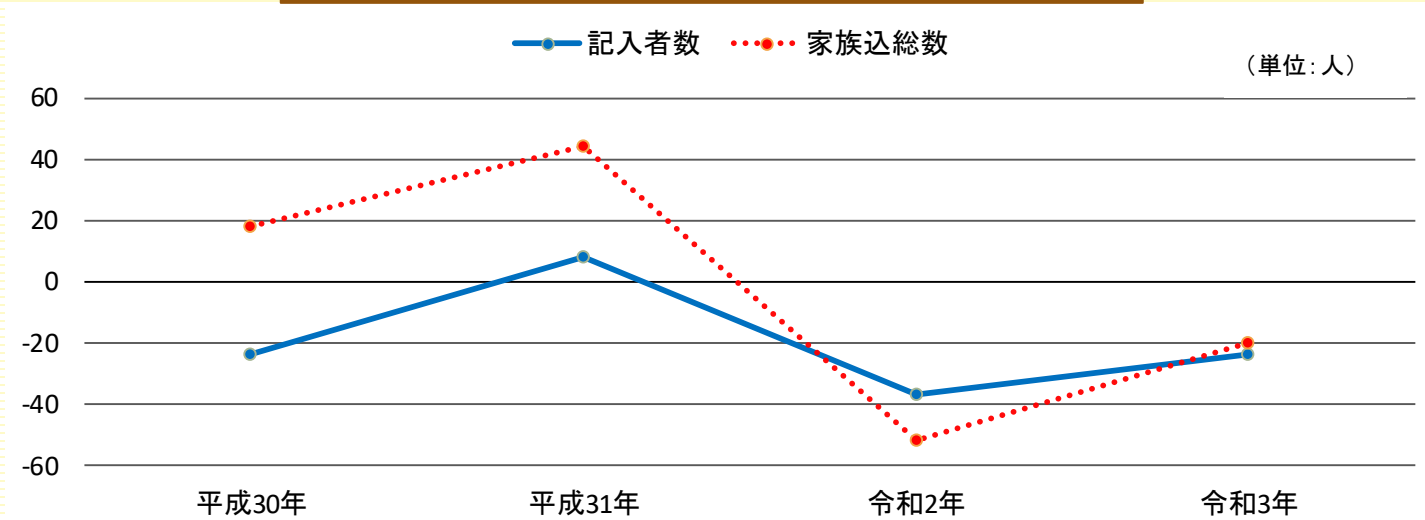
第1期牛久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の期間満了に伴い、同期間における本調査の経年変化をまとめた。

※ただし、平成28～29年調査のみ調査期間が異なる（平成28年8月～平成29年7月）ため、本報告書では除外した。

# 1-1. 転入・転出超過数（記入者数・家族込総数別）

- ◆ 記入者数ベースでは、平成31年のみ転入超過であった。
- ◆ 家族込数ベースでは、平成31年まで転入超過であるが、その後転出超過に転じた。  
特に、令和2年において転出超過が顕著であったが、令和3年において転出超過数が減少した。

## 記入者数・家族込総数別の転入・転出超過数



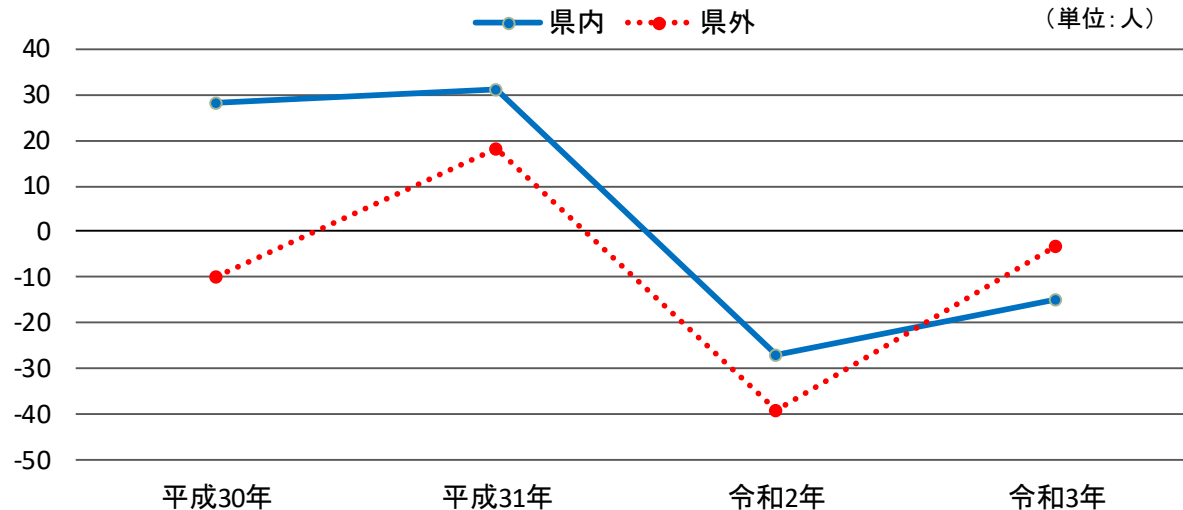
		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
記入者数	転入者	411	320	246	279
	転出者	435	312	283	303
	増減数	-24	8	-37	-24
家族込総数	転入者	577	457	318	381
	転出者	559	413	370	401
	増減数	18	44	-52	-20

## 1-2. 転入・転出超過数（県内・県外別）

- ◆ 県内間移動では、平成31年まで転入超過であるが、その後転出超過に転じた。
- ◆ 県外間移動では、平成31年のみ転入超過であった。  
特に、令和2年において転出超過が顕著であったが、令和3年において転出超過数が減少した。

※家族込総数ベース

### 県内・県外別の転入・転出超過数



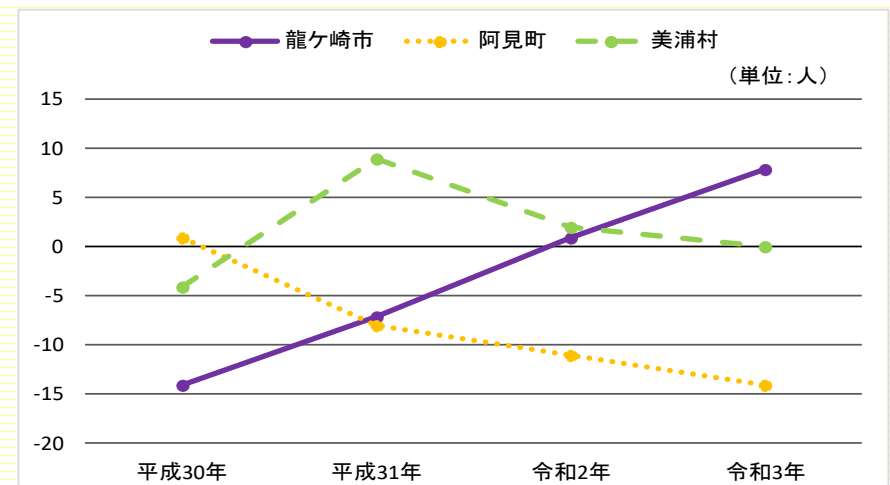
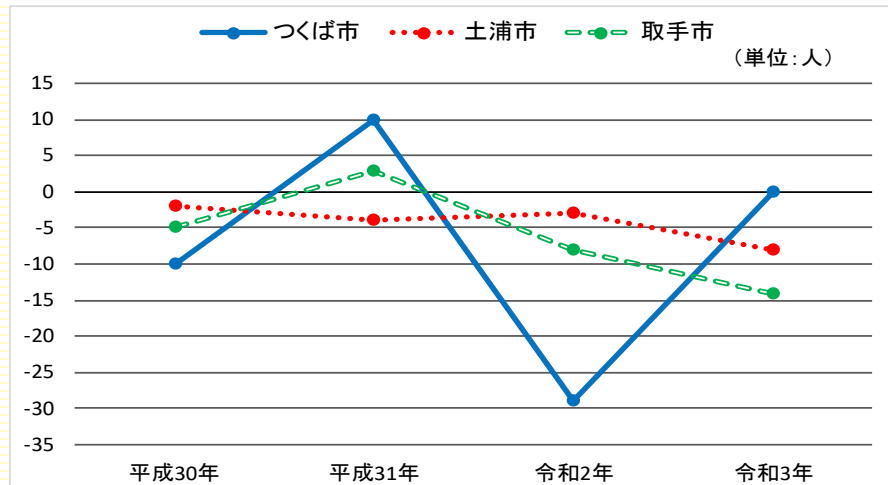
		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
県内	転入者	266	209	110	140
	転出者	238	178	137	155
	増減数	28	31	-27	-15
県外	転入者	303	243	193	238
	転出者	313	225	232	241
	増減数	-10	18	-39	-3

# 1-3. 転入・転出超過数（近隣市町村別）

- ◆ つくば市では、令和2年において転出超過が顕著であったが、令和3年では転入者と転出者が同数であった。
- ◆ 土浦市では、全ての年において転出超過であった。
- ◆ 龍ヶ崎市では、令和2年から転入超過に転じ、転入超過数が増加した。

※家族込総数ベース

## 近隣市町村別の転入・転出超過数



		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
つくば市	転入者	59	53	21	33
	転出者	69	43	50	33
	増減数	-10	10	-29	0
土浦市	転入者	25	26	12	14
	転出者	27	30	15	22
	増減数	-2	-4	-3	-8
取手市	転入者	17	13	2	4
	転出者	22	10	10	18
	増減数	-5	3	-8	-14

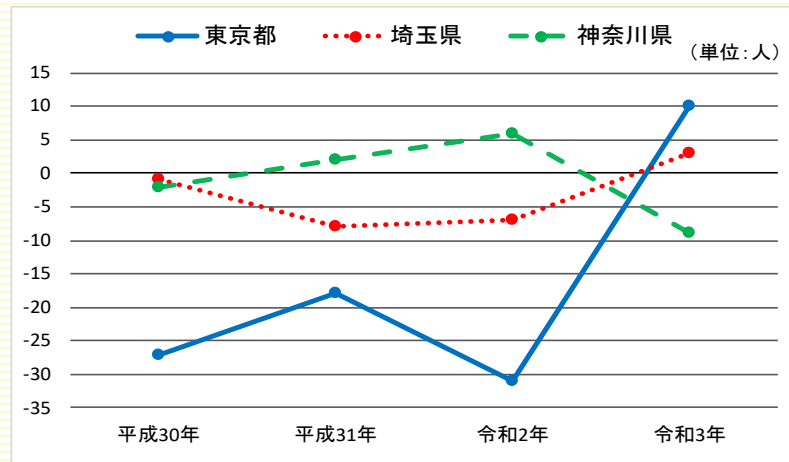
		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
龍ヶ崎市	転入者	29	17	10	19
	転出者	43	24	9	11
	増減数	-14	-7	1	8
阿見町	転入者	9	14	3	9
	転出者	8	22	14	23
	増減数	1	-8	-11	-14
美浦村	転入者	2	12	5	1
	転出者	6	3	3	1
	増減数	-4	9	2	0

# 1-4. 転入・転出超過数（関東圏内の都県別）

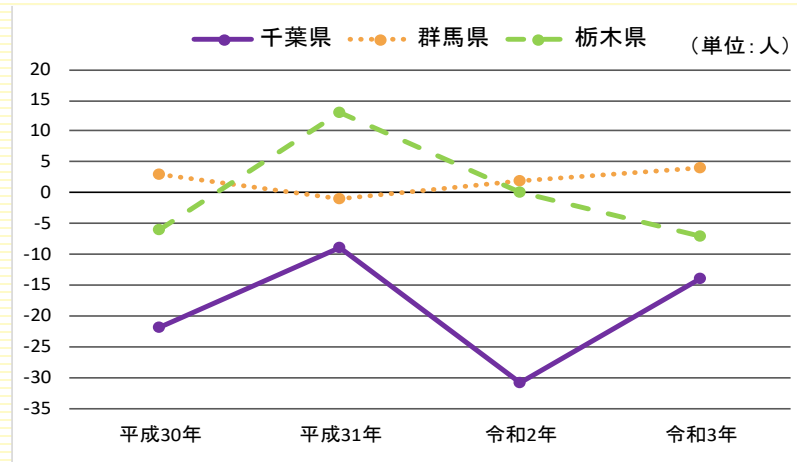
- ◆ 東京都では、令和2年まで転出超過であったが、令和3年において転入超過（10人）に転じた。
- ◆ 神奈川県では、令和2年まで転入超過数が増加したが、令和3年において転出超過に転じた。
- ◆ 千葉県では、全ての年において転出超過であった。

※家族込総数ベース

## 関東圏内の都県別の転入・転出超過数



		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
東京都	転入者	62	47	32	67
	転出者	89	65	63	57
	増減数	-27	-18	-31	10
神奈川県	転入者	30	20	32	21
	転出者	32	18	26	30
	増減数	-2	2	6	-9
埼玉県	転入者	29	20	14	23
	転出者	30	28	21	20
	増減数	-1	-8	-7	3



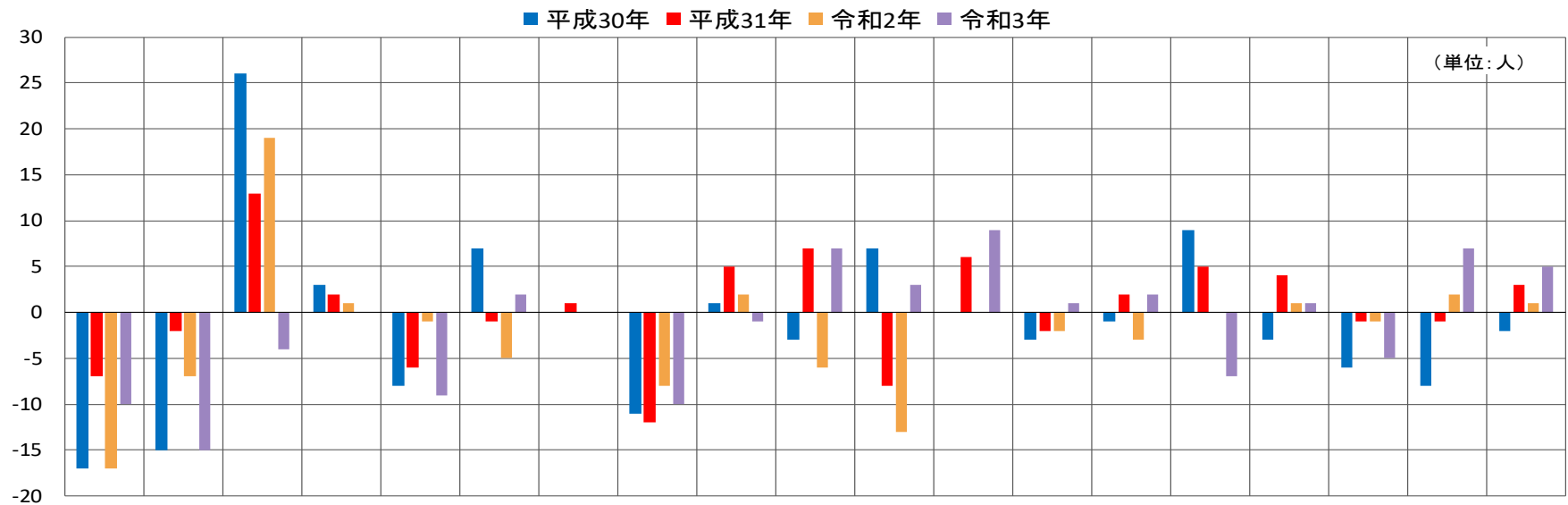
		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
千葉県	転入者	42	44	30	36
	転出者	64	53	61	50
	増減数	-22	-9	-31	-14
群馬県	転入者	5	4	4	6
	転出者	2	5	2	2
	増減数	3	-1	2	4
栃木県	転入者	2	14	4	5
	転出者	8	1	4	12
	増減数	-6	13	0	-7

# 1-5. 転入・転出超過数（移動理由別）

- ◆ 「就職」「転職（転業）」「結婚」「就学」「交通の利便性」について、全ての年において転出超過であった。
- ◆ 「転勤」「卒業」について、令和2年まで転入超過であったが、令和3年において転出超過に転じた。
- ◆ 「親との同居」では、令和2年まで転出超過であったが、令和3年において転入超過に転じた。

※家族込総数ベース

## 移動理由別の転入・転出超過数

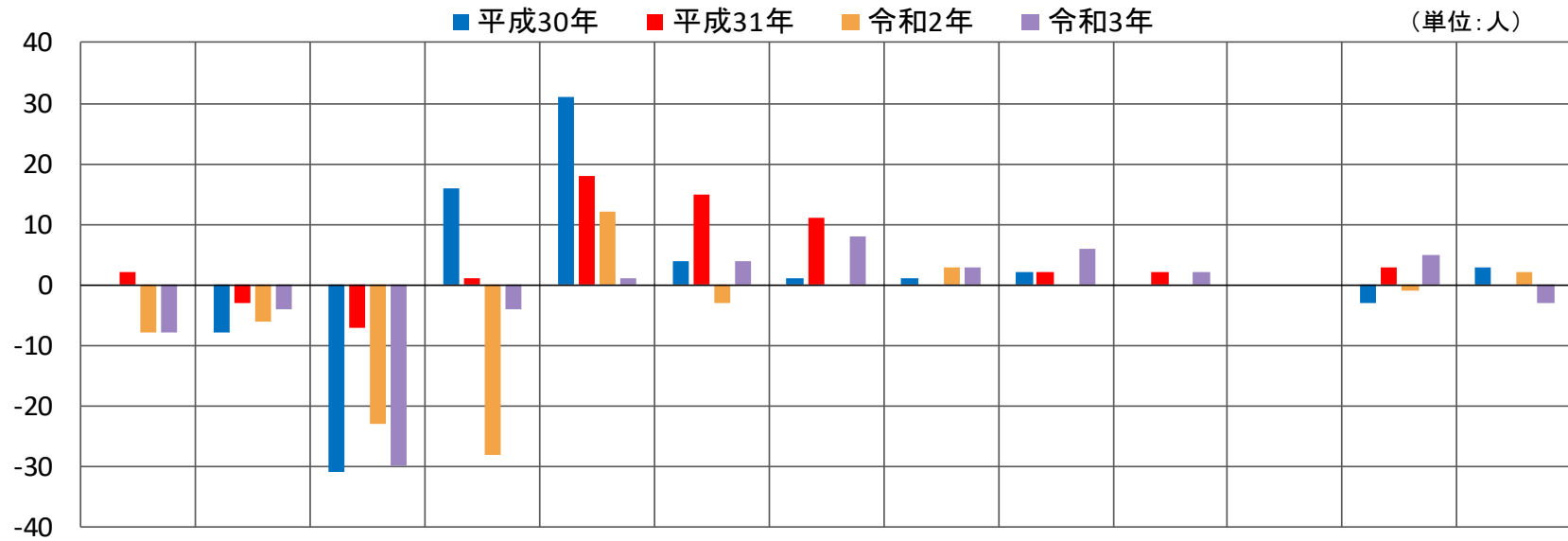


	就職	転職 (転業)	転勤	退職 (廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入 (新築)	住宅購入 (中古)	親との同居	親との近居	家族からの独立	生活の利便性	交通の利便性	その他	無回答・不明
平成30年	-17	-15	26	3	-8	7	0	-11	1	-3	7	0	-3	-1	9	-3	-6	-8	-2
平成31年	-7	-2	13	2	-6	-1	1	-12	5	7	-8	6	-2	2	5	4	-1	-1	3
令和2年	-17	-7	19	1	-1	-5	0	-8	2	-6	-13	0	-2	-3	0	1	-1	2	1
令和3年	-10	-15	-4	0	-9	2	0	-10	-1	7	3	9	1	2	-7	1	-5	7	5

## 1-6. 転入・転出超過数（年代別）

- ◆ 「10歳代」「20歳代」では、全ての年において転出超過であった。
- ◆ 「40歳代」では、全ての年において転入超過であった。
- ◆ 「30歳代」について、平成31年まで転入超過であったが、令和2年より転出超過に転じた。

※家族込総数ベース



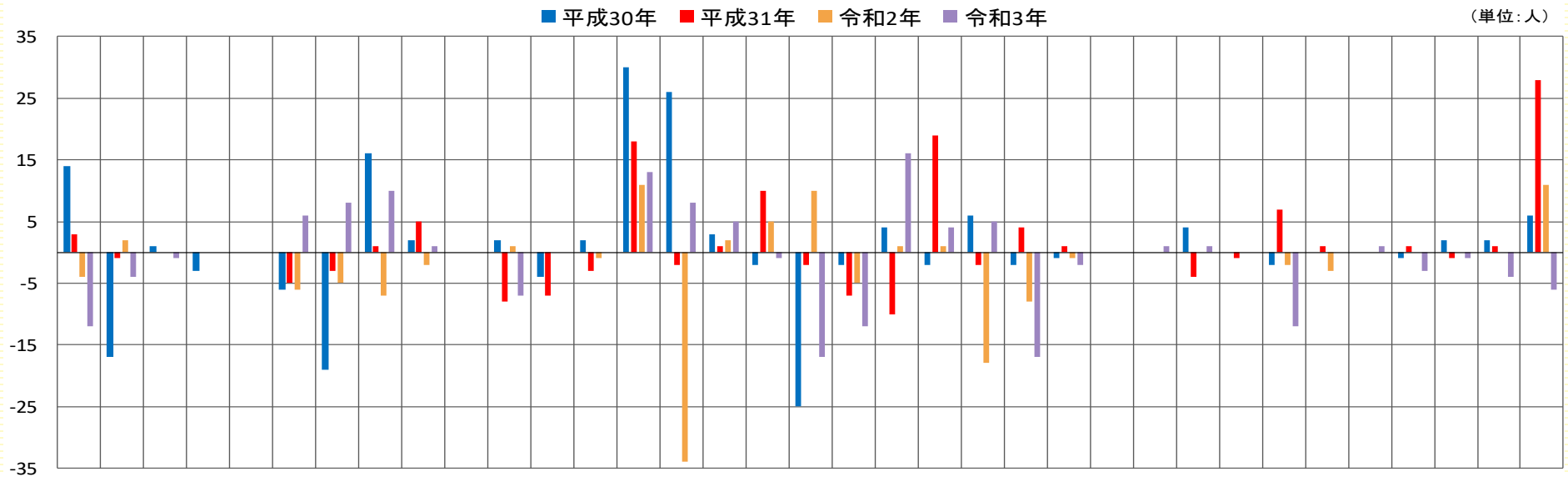
	0～9歳	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳以上	年齢不明	その他記入不備
平成30年	0	-8	-31	16	31	4	1	1	2	0	0	-3	3
平成31年	2	-3	-7	1	18	15	11	0	2	2	0	3	0
令和2年	-8	-6	-23	-28	12	-3	0	3	0	0	0	-1	2
令和3年	-8	-4	-30	-4	1	4	8	3	6	2	0	5	-3

# 1-7. 転入・転出超過数（地区別）

- ◆ 「ひたち野西」「猪子町」では、全ての年において転入超過であった。
- ◆ 「栄町」では、全ての年において転出超過であった。
- ◆ 「ひたち野東」では、平成30年と令和3年において転入超過であった。

※家族込総数ベース

## 地区別の転入・転出超過数



	牛久町	城中町	遠山町	新地町	庄兵衛新田町	刈谷町	田宮町	田宮	東端穴町	中根町	下根町	岡見町	東大和田町	ひたち野西	ひたち野東	猪子町	柏田町	上柏田	栄町	中央	南	神谷	さくら台	女化町	結末町	上太田町	小坂町	福田町	久野町	正直町	島田町	桂町	井ノ岡町	奥原町	無回答・不明
平成30年	14	-17	1	-3	0	-6	-19	16	2	0	2	-4	2	30	26	3	-2	-25	-2	4	-2	6	-2	-1	0	0	4	0	-2	0	0	-1	2	2	6
平成31年	3	-1	0	0	0	-5	-3	1	5	0	-8	-7	-3	18	-2	1	10	-2	-7	-10	19	-2	4	1	0	0	-4	-1	7	1	0	1	-1	1	28
令和2年	-4	2	0	0	0	-6	-5	-7	-2	0	1	0	-1	11	-34	2	5	10	-5	1	1	-18	-8	-1	0	0	0	-2	-3	0	0	0	0	0	11
令和3年	-12	-4	-1	0	0	6	8	10	1	0	-7	0	0	13	8	5	-1	-17	-12	16	4	5	-17	-2	0	1	1	0	-12	0	1	-3	-1	-4	-6

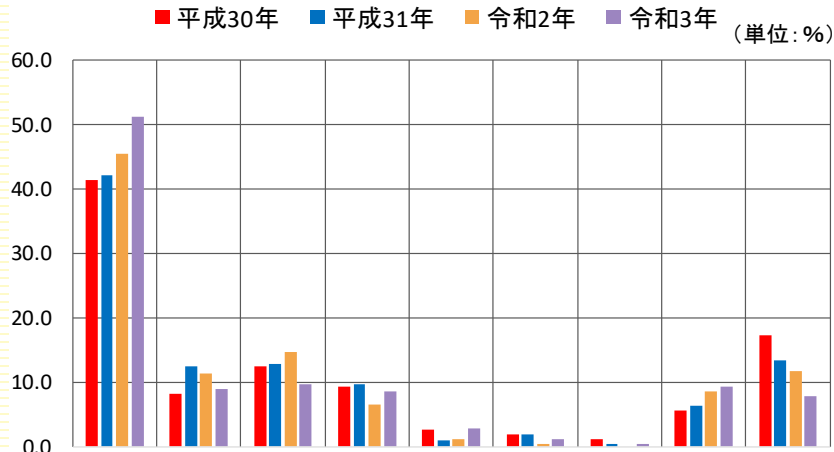


## 2. 移動後の家族構成

- ◆ 転入・転出ともに全ての年において「一人暮らし」の割合が最も多かった。
- ◆ 転入において、「夫婦が同居」の割合は令和2年まで増加していたが、令和3年に減少した。
- ◆ 転出において、「親と独身の子が同居」の割合は令和2年まで増加していたが、令和3年に減少した。

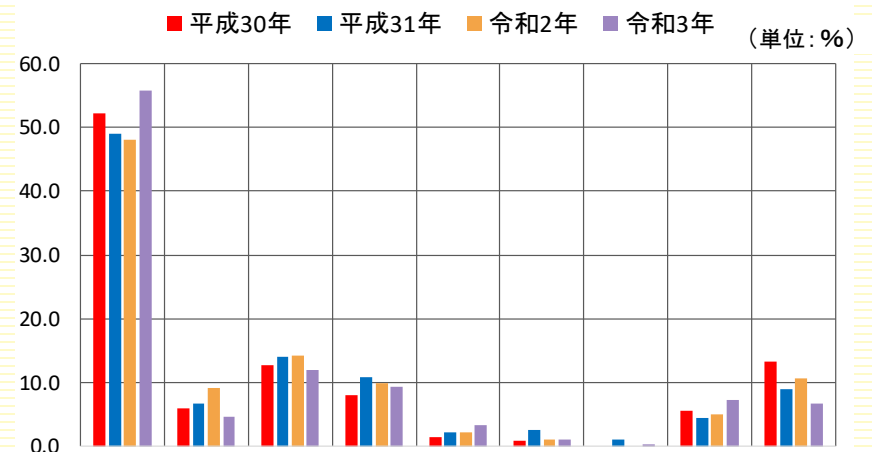
※記入者数ベース

### 転入後の家族構成



転入	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	同居ひとり親と子どもが同居	孫が同居	親と子ども夫婦、同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計(人)
平成30年	41.4	8.3	12.4	9.2	2.7	1.9	1.2	5.6	17.3	411	
平成31年	42.2	12.5	12.8	9.7	0.9	1.9	0.3	6.3	13.4	320	
令和2年	45.5	11.4	14.6	6.5	1.2	0.4	0.0	8.5	11.8	246	
令和3年	51.3	9.0	9.7	8.6	2.9	1.1	0.4	9.3	7.9	279	

### 転出後の家族構成



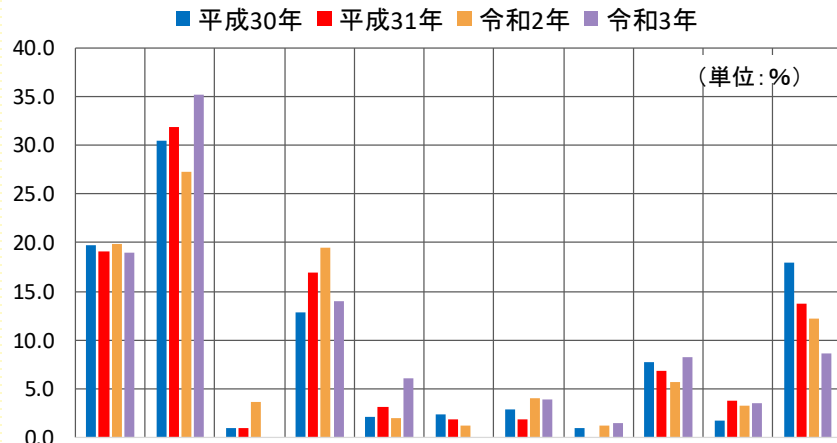
転出	一人暮らし	親と独身の子が同居	夫婦が同居	夫婦と子どもが同居	同居ひとり親と子どもが同居	孫が同居	親と子ども夫婦、同居	親と独身の子、孫が同居	その他	無回答・不明	記入者数計(人)
平成30年	52.2	6.0	12.6	8.0	1.4	0.9	0.0	5.5	13.3	435	
平成31年	49.0	6.7	14.1	10.9	2.2	2.6	1.0	4.5	9.0	312	
令和2年	48.1	9.2	14.1	9.9	2.1	1.1	0.0	4.9	10.6	283	
令和3年	55.8	4.6	11.9	9.2	3.3	1.0	0.3	7.3	6.6	303	

### 3. 世帯主の職業

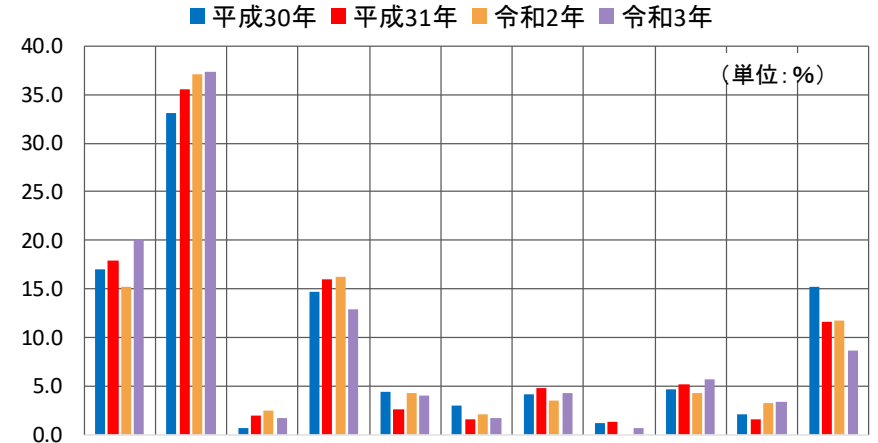
- ◆ 転入・転出ともに全ての年において「会社員（市外勤務）」の割合が最も多かった。
- ◆ 転出における「会社員（市外勤務）」の割合は、年々増加傾向にある。
- ◆ 「公務員・団体職員」の割合について、転入・転出ともに令和2年まで増加していたが、令和3年に減少した。

※記入者数ベース

#### 世帯主の職業（転入者）



#### 世帯主の職業（転出者）



転入	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計（人）
平成30年	19.7	30.4	1.0	12.9	2.2	2.4	2.9	1.0	7.8	1.7	18.0	411
平成31年	19.1	31.9	0.9	16.9	3.1	1.9	1.9	0.0	6.9	3.8	13.8	320
令和2年	19.9	27.2	3.7	19.5	2.0	1.2	4.1	1.2	5.7	3.3	12.2	246
令和3年	19.0	35.1	0.0	14.0	6.1	0.0	3.9	1.4	8.2	3.6	8.6	279

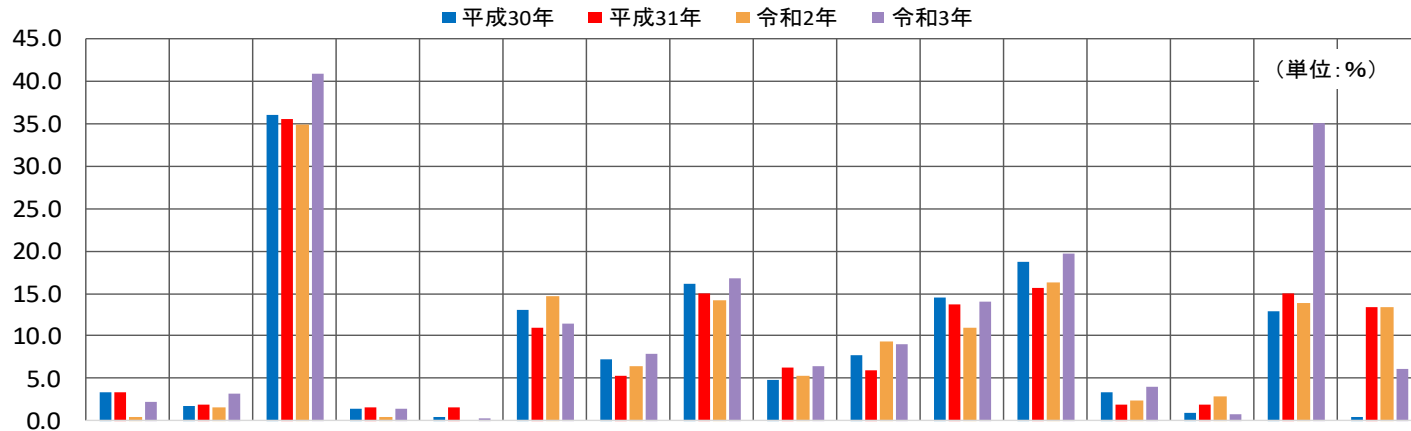
転出	会社員（市内勤務）	会社員（市外勤務）	会社役員	公務員・団体職員	自営業	派遣・契約社員	パート・アルバイト	主婦	無職	その他	無回答・不明	記入者数計（人）
平成30年	17.0	33.1	0.7	14.7	4.4	3.0	4.1	1.1	4.6	2.1	15.2	435
平成31年	17.9	35.6	1.9	16.0	2.6	1.6	4.8	1.3	5.1	1.6	11.5	312
令和2年	15.2	37.1	2.5	16.3	4.2	2.1	3.5	0.0	4.2	3.2	11.7	283
令和3年	20.1	37.3	1.7	12.9	4.0	1.7	4.3	0.7	5.6	3.3	8.6	303

## 4-1. 転入先を選んだ理由

- ◆ 全ての年において「学校・職場などが近い」の割合が最も高く、次いで「住宅（購入・賃貸）の条件が良かった」であった。
- ◆ 全ての年において「福祉が充実している」の割合が最も低かった。
- ◆ 「学校・職場などが近い」「買い物が便利である」「親兄弟が近くにいる」の割合について、令和2年まで減少傾向にあったが、令和3年に増加した。

※記入者数ベース

### 転入先を選んだ理由



転入	子供が育てやすい	良い教育や文化的な環境がある	学校・職場などが近い	医療が充実している	福祉が充実している	公共交通が便利である	道路交通網が便利である	買い物が便利である	自然環境が良い	友人・知人が近くにいる	親兄弟が近くにいる	住宅（購入・賃貸）の条件が良かった	治安が良い	まちに活気がある	その他	無回答・不明	記入者数計（人）
平成30年	3.4	1.7	36.0	1.5	0.5	13.1	7.3	16.1	4.9	7.8	14.6	18.7	3.4	1.0	12.9	0.5	411
平成31年	3.4	1.9	35.6	1.6	1.6	10.9	5.3	15.0	6.3	5.9	13.8	15.6	1.9	1.9	15.0	13.4	320
令和2年	0.4	1.6	35.0	0.4	0.0	14.6	6.5	14.2	5.3	9.3	11.0	16.3	2.4	2.8	13.8	13.4	246
令和3年	2.2	3.2	40.9	1.4	0.4	11.5	7.9	16.8	6.5	9.0	14.0	19.7	3.9	0.7	35.1	6.1	279

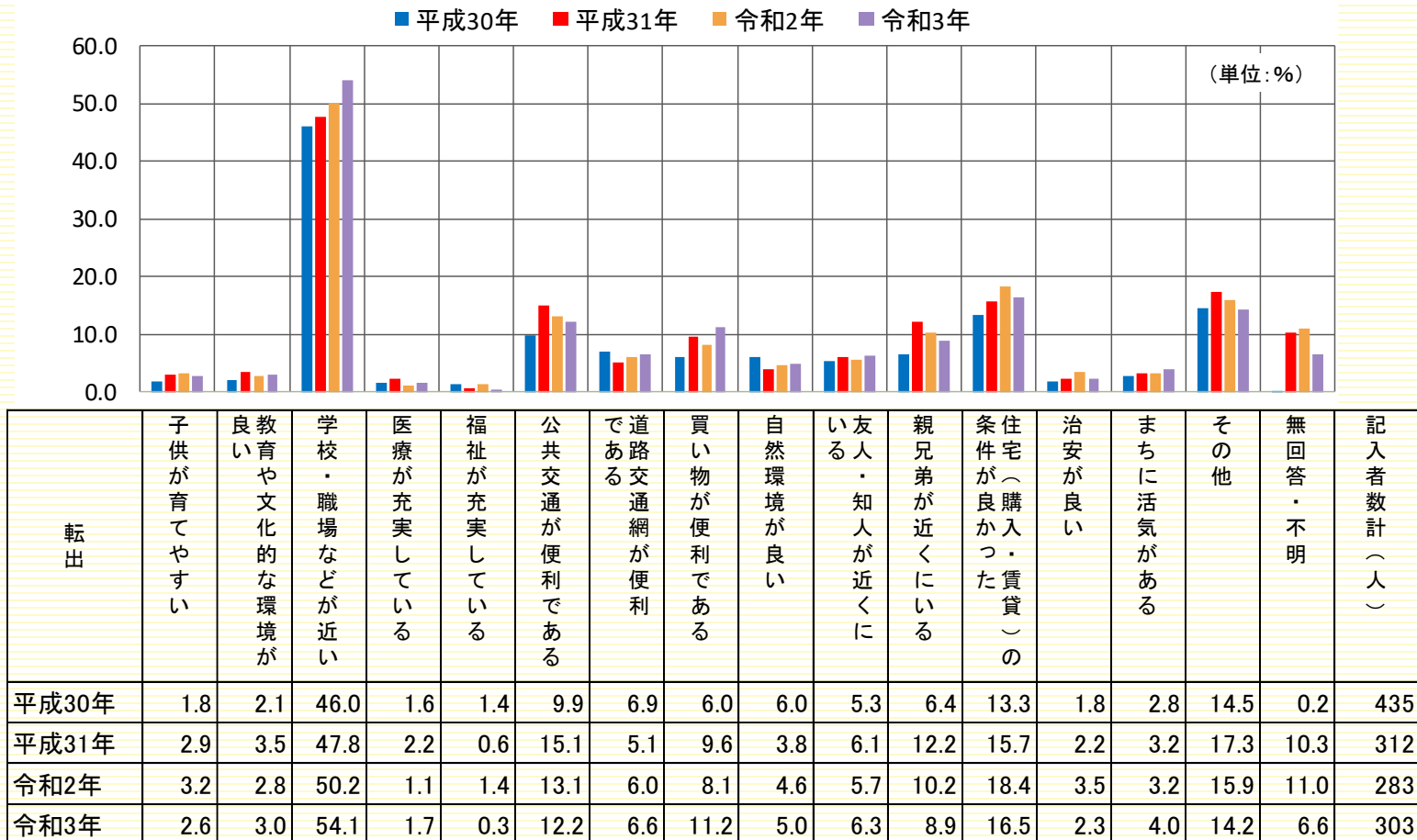
※複数回答

## 4-2. 転出先を選んだ理由

- ◆ 全ての年において「学校・職場などが近い」の割合が最も高く、次いで「住宅（購入・賃貸）の条件が良かった」であった。
- ◆ 「学校・職場などが近い」の割合は、年々増加傾向にある。
- ◆ 「親兄弟が近くにいる」の割合は、平成31年以降年々減少傾向にある。

※記入者数ベース

### 転出先を選んだ理由



※複数回答

## 5. まとめ

- ◆ 近隣市町村における転入・転出超過数について、つくば市では転入・転出超過数にばらつきがあり、土浦市では転出超過の傾向がみられる。また、取手市や阿見町では、転出超過の傾向が年々増しており、龍ヶ崎市では転入超過の傾向が年々増している。
- ◆ 東京圏における転入・転出超過数をみると（下表）、平成30年から令和2年まで転出超過数が30～60人で推移していたが、令和3年は転出超過数が10人であり、**東京圏への転出超過数が減少した**。特に、東京都では、令和2年において初めて転入超過（10人）に転じた。

	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	合計
平成30年	-27	-2	-1	-22	-52
平成31年	-18	2	-8	-9	-33
令和2年	-31	6	-7	-31	-63
令和3年	10	-9	3	-14	-10

- ◆ 「10歳代」「20歳代」では、**全ての年において転出超過**であり、若い世代における人口流出の傾向がみられる一方、「40歳代」では、全ての年において転入超過であった。
- ◆ 移動先選択理由では、**転入・転出ともに通勤・通学や住宅条件、買い物・交通の利便性など、生活環境における利便性を理由に転入する方が多い**一方、医療や福祉の充実さを理由に転入する方はわずかであった。

# アンケート調査票

## 牛久市へ転入・牛久市から転出されるかたへ ～アンケート調査ご協力のお願～

この度は、アンケートにご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。  
牛久市では、「住みやすさ」「産み育てやすさ」にこだわり、「選ばれるまち」であり続けることを目指し、「出産・子育て・教育」「ひとの流れづくり」「しごとづくり」などに関する市政の向上を目指しています。  
本アンケートは、今後の行政サービス等を検討する際に、住民の皆様のご意向を反映するため、転入・転出の理由やご意見をお聞きするものです。  
また、本アンケートは「無記名」で、ご回答いただいた内容は全て統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年3月  
牛久市長 根本 洋治

・このアンケート用紙に直接ご記入（○印をつける、または記入する）ください。

問1. 転入・転出について当てはまる方にお答えください。

### 牛久市に転入されるかた

どちらから転入されますか。あてはまる番号を○で囲み、太枠内を記入してください。

1. 茨城県内の他の市町村から転入

市・町・村

2. 他の都道府県から転入

都・道・府・県

3. 国外から転入

(国名)

### 牛久市から転出されるかた

どちらへ転出されますか。あてはまる番号を○で囲み、太枠内を記入してください。

4. 茨城県内の他の市町村へ転出

市・町・村

5. 他の都道府県へ転出

都・道・府・県

6. 国外へ転出

(国名)

問2. 移動される理由は何ですか。主な理由を1つ選んで番号を○で囲んでください。

- |              |              |             |             |             |
|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 就職        | 2. 転職(転業)    | 3. 転勤       | 4. 退職(廃業)   | 5. 結婚       |
| 6. 離婚        | 7. 縁組        | 8. 就学       | 9. 卒業       | 10. 帰郷      |
| 11. 住宅購入(新築) | 12. 住宅購入(中古) | 13. 両親等との同居 | 14. 両親等との近居 | 15. 家族からの独立 |
| 16. 生活の利便性※  | 17. 交通の利便性   | 18. その他( )  |             |             |

※生活の利便性…買い物に便利、通院に便利、教育環境の良い地域への住み替えなど

問3. 移動されるかた全員について、性別を選んで○で囲み、現在の年齢をご記入ください。

	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
性別	1. 男	1. 男	1. 男	1. 男	1. 男	1. 男	1. 男
	2. 女	2. 女	2. 女	2. 女	2. 女	2. 女	2. 女
年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳

問4. 住所は次のうちどちらですか。1つ選んで番号を○で囲んで下さい。

(転入されるかたは転入後、転出されるかたは転出前)

- |           |           |           |         |
|-----------|-----------|-----------|---------|
| 1. 牛久町    | 2. 城中町    | 3. 遠山町    | 4. 新地町  |
| 5. 庄兵衛新田町 | 6. 刈谷町    | 7. 田宮町    | 8. 田宮   |
| 9. 東端六町   | 10. 中根町   | 11. 下根町   | 12. 岡見町 |
| 13. 東大和田町 | 14. ひたち野西 | 15. ひたち野東 | 16. 猪子町 |
| 17. 柏田町   | 18. 上柏田   | 19. 栄町    | 20. 中央  |
| 21. 南     | 22. 神谷    | 23. さくら台  | 24. 女化町 |
| 25. 結束町   | 26. 上太田町  | 27. 小坂町   | 28. 福田町 |
| 29. 久野町   | 30. 正直町   | 31. 島田町   | 32. 桂町  |
| 33. 井ノ岡町  | 34. 奥原町   |           |         |

問5. 移動後の世帯はどのような家族構成ですか。1つ選んで番号を○で囲んで下さい。

- |                   |               |                   |                 |
|-------------------|---------------|-------------------|-----------------|
| 1. 一人暮らし          | 2. 親と独身の子(成人) | 3. 夫婦             | 4. 夫婦と子ども(成人未満) |
| 5. ひとり親と子ども(成人未満) | 6. 親と子ども夫婦、孫  | 7. 親と独身の子(ひとり親)、孫 |                 |
| 8. その他( )         |               |                   |                 |

問6. 世帯主のご職業は次の内どれですか。1つ選んで番号を○で囲んで下さい。

- |              |              |              |             |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 1. 会社員(市内勤務) | 2. 会社員(市外勤務) | 3. 会社役員      | 4. 公務員・団体職員 |
| 5. 自営業       | 6. 派遣・契約社員   | 7. パート・アルバイト |             |
| 8. 主婦        | 9. 無職        | 10. その他( )   |             |

問7. 【転入されるかたのみお聞きします】

牛久市を転入先に選んだ理由は何ですか。あてはまる全ての番号を○で囲んでください。(複数回答可)

- |                 |                 |                       |
|-----------------|-----------------|-----------------------|
| 1. 子どもが育てやすい    | 2. 教育や文化的な環境がよい | 3. 学校・職場などが近い         |
| 4. 医療が充実している    | 5. 福祉が充実している    | 6. 公共交通が便利である         |
| 7. 道路交通網が便利である  | 8. 買い物が便利である    | 9. 自然環境がよい            |
| 10. 友人・知人が近くにいる | 11. 親兄弟が近くにいる   | 12. 住宅(購入・賃貸)の条件がよかった |
| 13. 治安がよい       | 14. まちに活気がある    | 15. その他( )            |

問8. 【転出されるかたのみお聞きします】

転出先を選んだ理由は何ですか。あてはまる全ての番号を○で囲んでください。(複数回答可)

- |                 |                 |                       |
|-----------------|-----------------|-----------------------|
| 1. 子どもが育てやすい    | 2. 教育や文化的な環境がよい | 3. 学校・職場などが近い         |
| 4. 医療が充実している    | 5. 福祉が充実している    | 6. 公共交通が便利である         |
| 7. 道路交通網が便利である  | 8. 買い物が便利である    | 9. 自然環境がよい            |
| 10. 友人・知人が近くにいる | 11. 親兄弟が近くにいる   | 12. 住宅(購入・賃貸)の条件がよかった |
| 13. 治安がよい       | 14. まちに活気がある    | 15. その他( )            |

問9. 牛久市に期待することや魅力、不満、要望などがありましたらご記入ください。(自由意見)

--